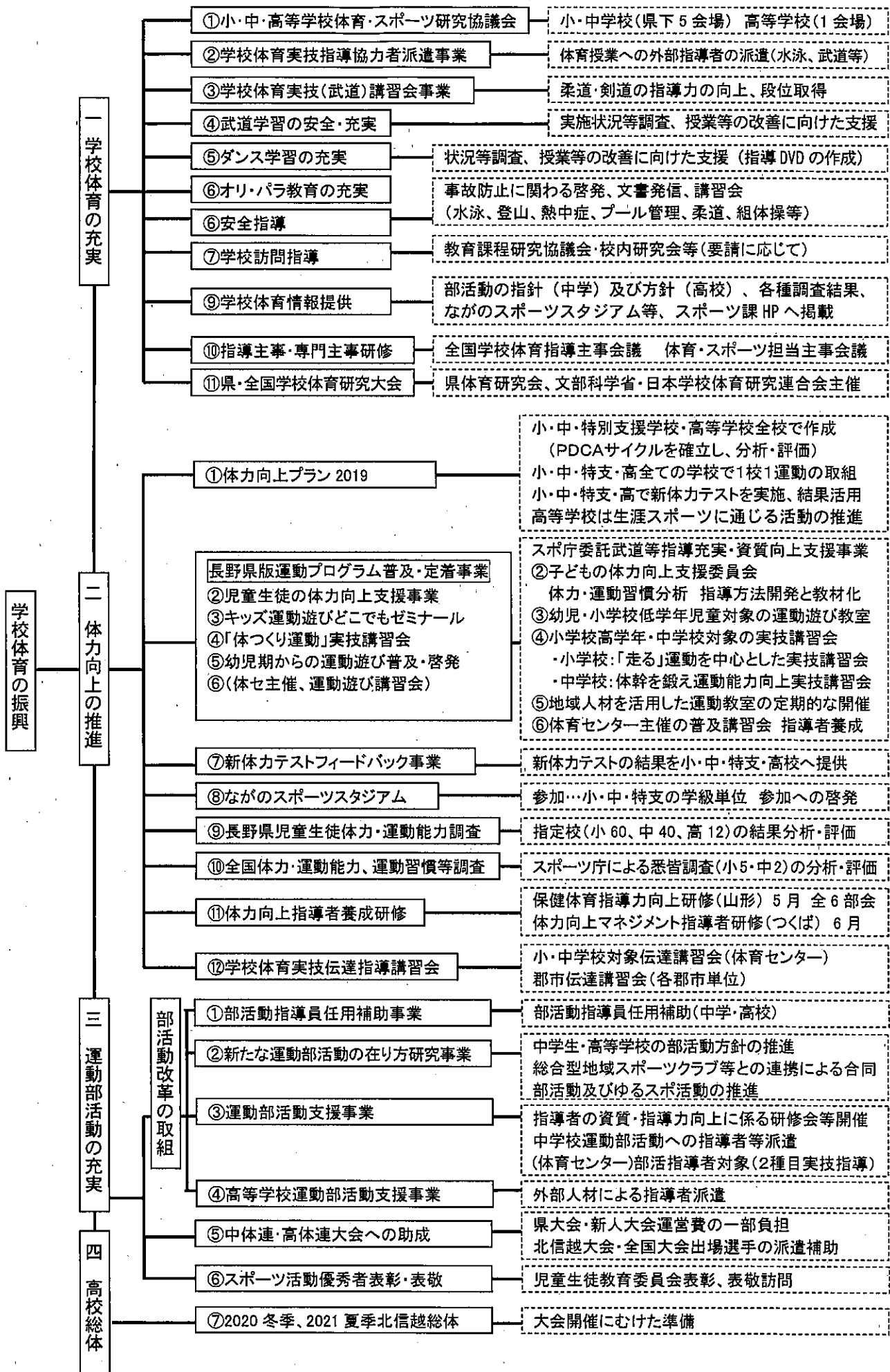


令和元年度 スポーツ課学校体育振興事業体系図



平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

スポーツ課

I 調査の概要

1 調査の目的

- (1) 子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の名称

平成 30 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (以下「本調査」という)

3 調査の対象及び調査校数・調査児童生徒数

- (1) 小学校調査…小学校第 5 学年、特別支援学校小学部第 5 学年
- (2) 中学校調査…中学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年

全国(国立、公立、政令市立、私立)の調査校数・調査児童生徒数

	調査学校数	調査児童生徒数		
		男子	女子	合計
小学校	20,121 校	542,335 人	519,291 人	1,061,626 人
中学校	10,645 校	507,129 人	487,029 人	994,158 人

本県(公立)の調査校数・調査児童生徒数

	調査学校数	調査児童生徒数		
		男子	女子	合計
小学校	363 校	9,232 人	8,888 人	18,120 人
中学校	192 校	8,663 人	8,196 人	16,859 人

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

① 実技に関する調査(測定方法等は新体力テストと同様)

ア) 小学校調査

[8 種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ) 中学校調査

[8 種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(男子 1500m、女子 1000m) または 20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

② 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

子どもの体力向上に係る取組等に関する質問紙調査

5 調査実施日

平成 30 年 4 月から 7 月までの期間

II 実技に関する本県の調査結果

1 平成 30 年度調査結果及び年度別推移 (H25～H30)

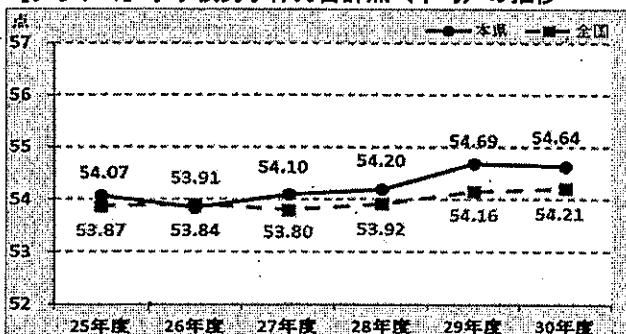
【表 1】 本県と全国の体力合計点 (平均) の一覧

※網掛は全国平均を上回る

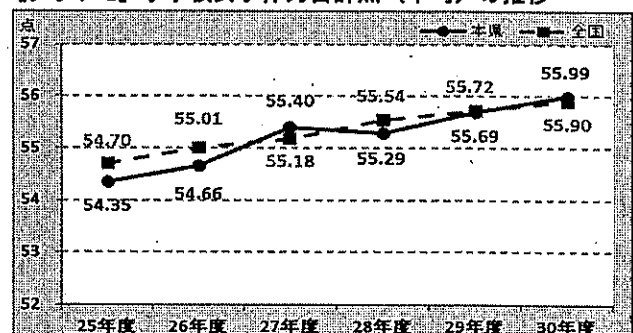
		25 年度		26 年度		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度		全国と差引
		体力合計点	順位	体力合計点	順位	体力合計点	順位	体力合計点	順位	体力合計点	順位	体力合計点	順位	
小 5 男子	本県	54.07	19 位	53.84	22 位	54.10	18 位	54.20	17 位	54.69	17 位	54.64	19 位	0.43
	全国	53.87		53.91		53.80		53.92		54.16		54.21		
小 5 女子	本県	54.35	30 位	54.66	30 位	55.40	23 位	55.29	27 位	55.69	25 位	55.99	25 位	0.09
	全国	54.70		55.01		55.18		55.54		55.72		55.90		
中 2 男子	本県	41.87	24 位	42.11	20 位	42.33	20 位	42.39	23 位	42.35	23 位	43.14	16 位	0.96
	全国	41.78		41.63		41.89		42.13		41.96		42.18		
中 2 女子	本県	47.01	39 位	47.38	41 位	48.83	26 位	48.65	34 位	49.04	38 位	50.31	32 位	-0.12
	全国	48.42		48.55		49.08		49.56		49.80		50.43		
総合	本県	197.30	29 位	197.99	27 位	200.66	19 位	200.53	23 位	201.77	23 位	204.08	22 位	1.36
	全国	198.77		199.10		199.95		201.15		201.64		202.72		
総合差引		-1.47		-1.11		0.71		-0.62		0.13		1.36		

※ 体力合計点とは、小・中学校各 8 種目の記録を男女別に点数化(1～10 点)した合計点 (80 点満点)

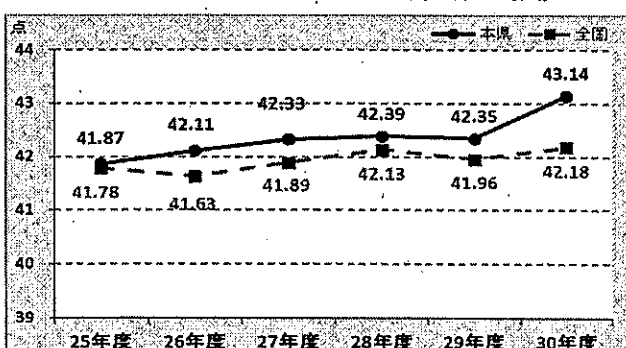
【グラフ 1】 小学校男子体力合計点 (平均) の推移



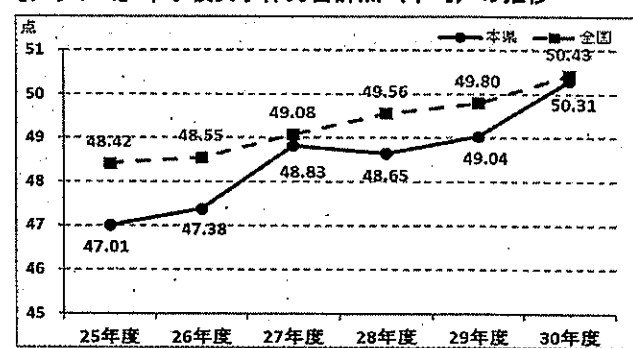
【グラフ 2】 小学校女子体力合計点 (平均) の推移



【グラフ 3】 中学校男子体力合計点 (平均) の推移



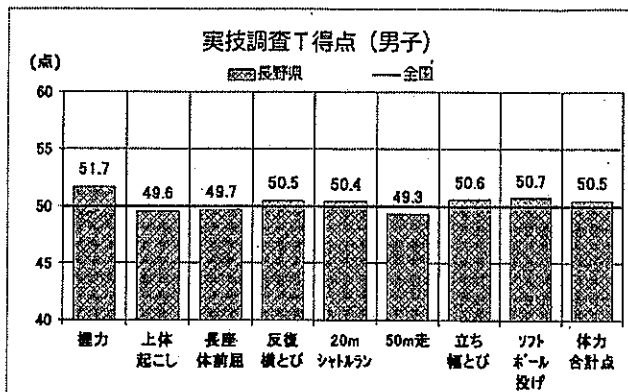
【グラフ 4】 中学校女子体力合計点 (平均) の推移



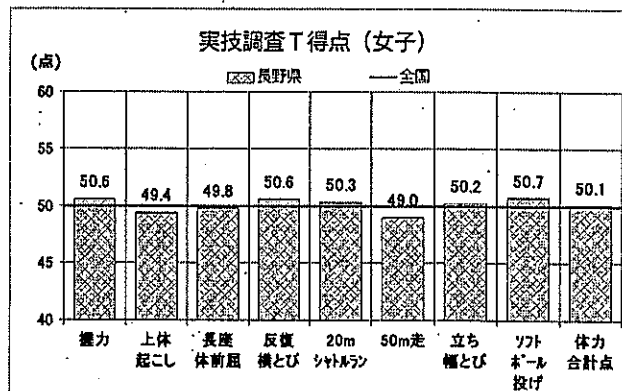
- ・ 小学校男女、中学校男子は、体力合計点の全国平均を上回った。
- ・ 中学校女子は、全国平均に届かなかったものの、全国平均に近づいている。
- ・ 体力合計点の総合では 204 点 を超え、本県の最高点を記録した。

2 実技種目別T得点による全国比較

[グラフ5] 小学校男子

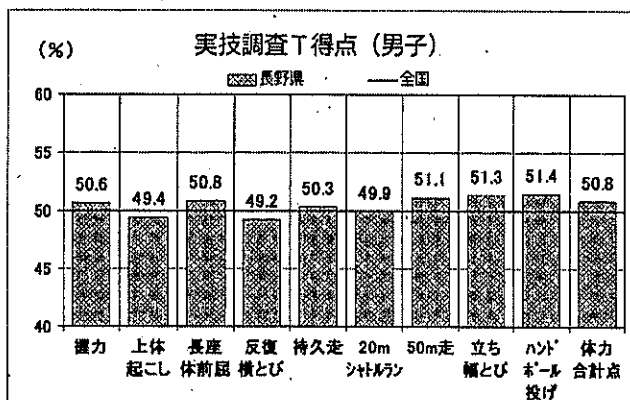


[グラフ6] 小学校女子

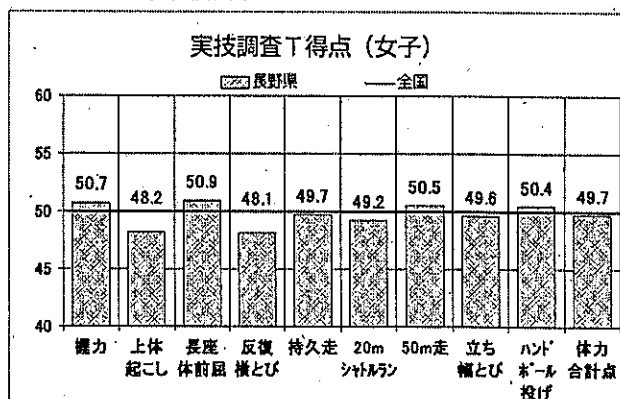


- ・小学校は、男女とも5種目で全国平均を上回った。
- ・女子は、課題の一つであった20mシャトルランで全国平均を上回った。
- ・男子では、昨年度と比べ長座体前屈のポイントを下げ、全国平均を下回った。
- ・小学校では、男女とも、上体起こし、長座体前屈、50m走で全国平均を下回った。

[グラフ7] 中学校男子



[グラフ8] 中学校女子



- ・男子は6種目で全国平均を上回った。
- ・女子は4種目で全国平均を上回った。
- ・中学校では、男女とも、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン(持久走)が、全国平均を下回った。

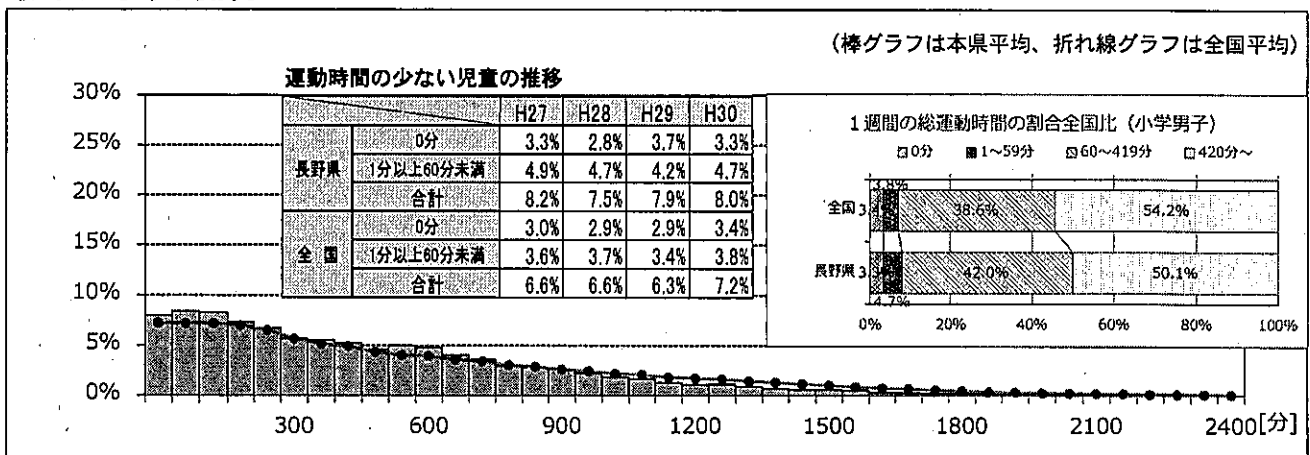
III 質問紙による本県の調査結果

- 1 ふだんの1週間について聞きます。学校の体育（保健体育）の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日の欄に記入してください。（中学校は部活動の時間も含めて記入してください）

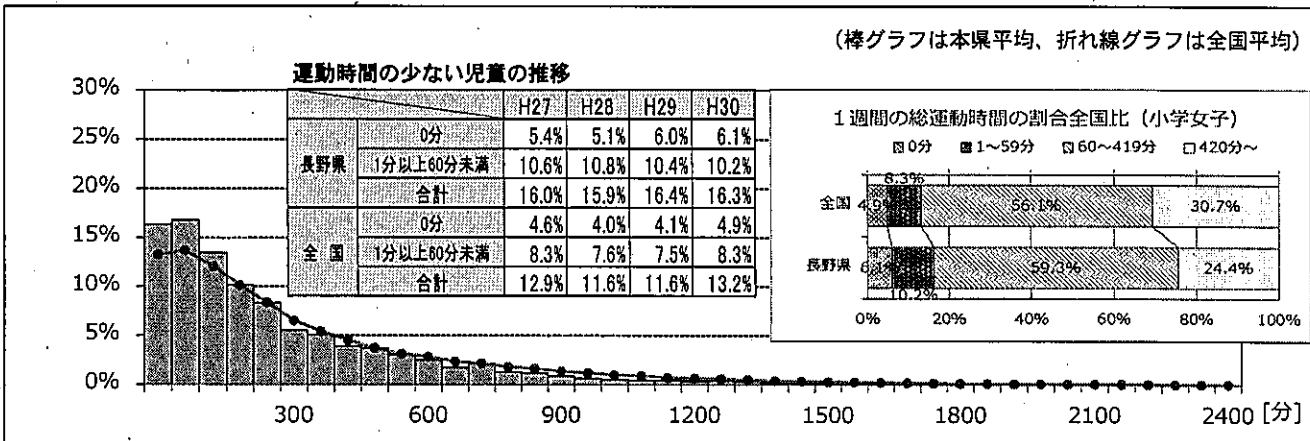
	月	火	水	木	金	土	日
	分	分	分	分	分	分	分

※運動やスポーツをしない場合は「0分」と記入してください。必ず「分」に因りて記入すること。

[グラフ 9] 小学校男子

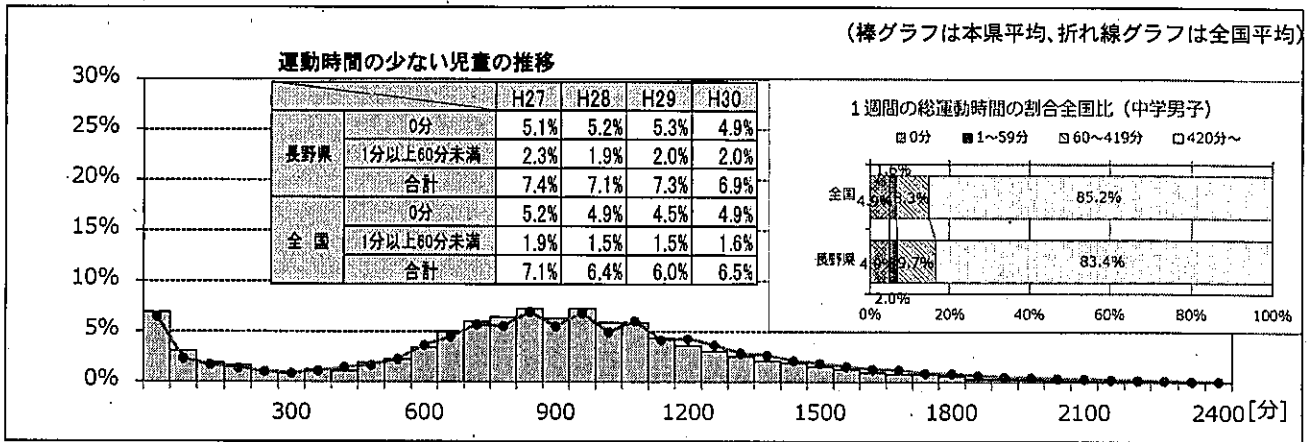


[グラフ 10] 小学校女子

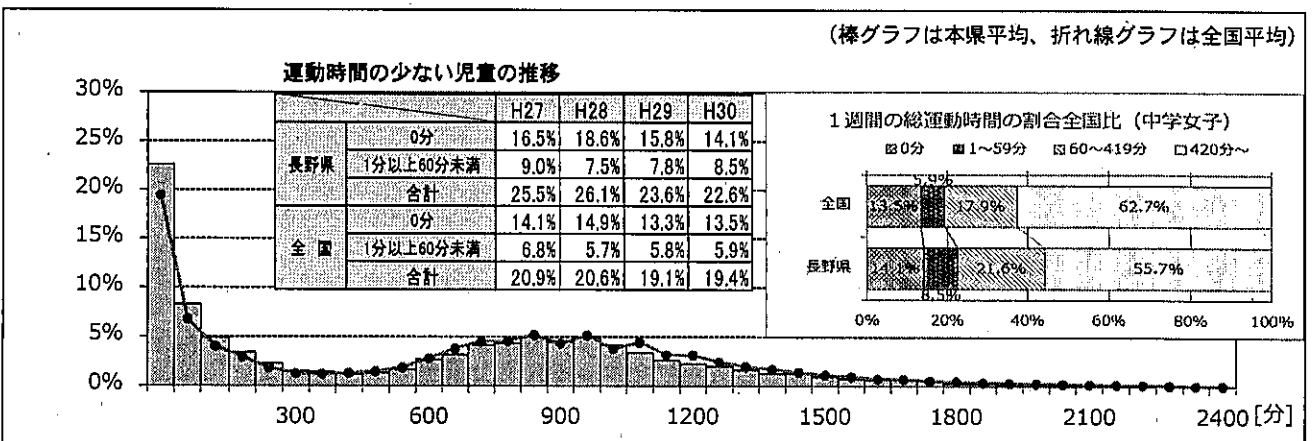


- ・小学校男女とも「0～60分未満」の児童の割合が、全国平均と比べて高くなっている。
- ・小学校男子は、前年に比べ「0～60分未満」の児童の割合が微増している。
- ・小学校女子は、前年に比べ「0～60分未満」の児童の割合が微減している。

【グラフ11】 中学校男子



【グラフ12】 中学校女子



- ・中学校男女とも「0～60分未満」の生徒の割合が、全国平均と比べて高くなっている。
- ・中学校男子では、前年に比べ「0～60分未満」の生徒の割合が減少している。
- ・中学校女子では、前年に比べ「0～60分未満」の生徒の割合が減少しているものの、依然として2割を超える高い水準にある。

【表2】 一週間の平均総運動時間（体育授業を除く）の全国対比（H26～H30）

年度	小学校男子				小学校女子				中学校男子				中学校女子			
	長野	全国	長野	全国	長野	全国	長野	全国	長野	全国	長野	全国	長野	全国		
	順位	時間(分)	時間(分)	差引	順位	時間(分)	時間(分)	差引	順位	時間(分)	時間(分)	差引	順位	時間(分)	時間(分)	差引
26	46	503.8	605.6	-101.8	47	269.8	354.1	-84.3	33	897.2	925.3	-28.1	43	580.9	650.4	-69.5
27	46	490.9	595.1	-104.2	47	279.9	357.7	-77.8	41	858.0	918.3	-60.3	44	569.6	656.4	-86.8
28	47	503.0	599.4	-96.4	47	290.9	371.7	-80.8	42	903.5	968.4	-64.9	45	598.1	689.7	-91.6
29	47	501.1	612.6	-111.5	47	289.7	379.3	-89.6	42	913.6	973.0	-59.4	43	617.1	701.9	-84.7
30	45	506.4	588.3	-81.9	47	290.4	353.7	-63.3	40	860.2	896.9	-36.7	45	590.9	653.4	-62.5

- ・小・中学校男女とも、全国平均との差を縮めたものの、依然としてその差は大きい。

「長野県版運動プログラム」普及事業 開催要項

1 目的

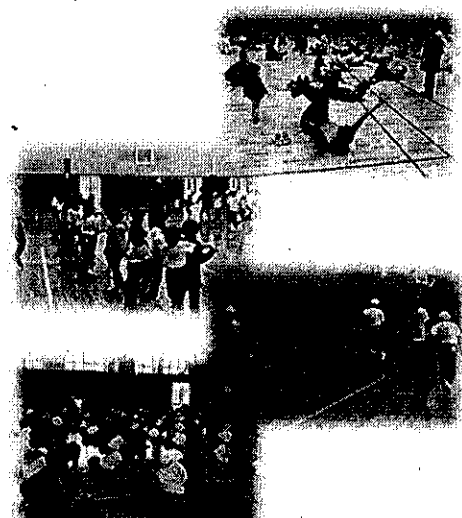
長野県版運動プログラムのさらなる普及のため、大学教員等、専門的に研究を行っている講師を市町村の幼・保育園、小・中学校に派遣することにより、授業の充実及び指導者の指導力向上を図り、ひいては子どもの体力向上と運動習慣の形成を目的とする。

2 主催 長野県教育委員会 開催市町村担当課

3 実施時期 2019年6月～2020年2月

4 対象

- (1) キッズ運動遊びどこでもゼミナール
 - ・①幼児及び保護者・幼稚園教諭・保育士
 - ・②小学校低学年の児童及び保護者、小学校教職員
- (2) 「体づくり運動」実技講習会
 - ・①小学校高学年の児童と教員（小学校対象実技講習会）
 - ・②中学校の生徒と教員（中学校対象実技講習会）



5 内容（1講座2時間程度）

- (1) キッズ運動遊びどこでもゼミナール
 - ・松本短期大学柳澤秋孝名誉教授、信州大学渡辺敏明准教授による「長野県版運動プログラム」幼児期からの運動遊びや小学校低学年向けプログラム、走・跳・投の運動など、幼児期から児童期の体力向上にふさわしい運動プログラムや親子でできる運動遊び等の紹介
- (2) 「体づくり運動」実技講習会
 - ・松本大学岩間英明教授による、小学校児童を対象とした「体づくり運動（走運動をもとにした体づくり運動等）」実技講習会を小学校の体育授業において実施する。
 - ・アスレチック・トレーナー等による中学校生徒を対象とした「体づくり運動」に活用できるコアトレーニング（体幹を整える運動）の実技講習会を中学校の保健体育授業において実施する。

6 回数 【キッズ運動遊びどこでもゼミナール】

- ・未実施市町村（県内5カ所を予定）で①②をそれぞれ年間1回実施
- ・実施済市町村（県内5カ所を予定）で①②をそれぞれ年間1回実施

【「体づくり運動」実技講習会】

- ・未実施市町村（県内5カ所を予定）で①②をそれぞれ年間1回実施
- ・実施済市町村（県内3カ所を予定）で①②をそれぞれ年間1回実施

7 事業実施上の留意事項

- 謝金及び交通費等、講師に係る費用は県教育委員会が負担する。
- 開催日時は、平日もしくは休日でも可能。午前中の2時間程度を原則とする。
- 必要に応じて参加者に団体レクリエーション保険を掛ける。（費用は県教育委員会が負担する）
- これまでの開催例・・・市体育課が地域に募集、市スポーツ推進委員参加
保育園・小学校の土曜参観日や親子レクに合わせて実施
保育士の研修会もあわせ、保育園で園児対象に実施

※「キッズ運動遊びどこでもゼミナール」につきましては、児童クラブ指導員、市町村担当者、地域のスポーツ指導者の方にも研修等の場としてご参加いただくことが可能です。

「長野県版運動プログラム」定着事業 開催要項

キッズ運動遊び

1 目 的

長野県版運動プログラムの継続実施による定着を図るため、本プログラム普及事業実施市町村を中心に、本プログラムを開発した大学教員等の講座を受講した地域の指導者が、定期的に幼・保育園の保育の時間や小学校低学年の体育の授業で運動遊びを指導するとともに、運動が苦手な子や希望者を募った運動教室を開催することで、子どもの体力向上と運動習慣の形成をはかる。

2 主 催 長野県教育委員会 開催市町村担当課

3 実施時期 2019年7月～2020年2月

4 講 師 総合型地域スポーツクラブ等の地域の指導者であり、長野県版運動プログラム普及講座（県体育センター研修講座 6月開催）を受講した者のうち、主催者及び実施幼・保育園長、小学校長が認める者

5 対 象

- (1) 幼・保育園児及び保護者、幼稚園教諭・保育士 等
- (2) 小学校低学年児童及び保護者、小学校教員 等

6 内 容 （時間は、1回1時間（45分間））

- (1) 幼・保育園での運動遊びの時間、保育参観等で実施
- (2) 小学校低学年の体育の授業、授業参観等で実施
- (3) 園舎や小学校体育館を活用し、放課後の時間等での運動教室の実施

7 回 数

各会場（園・小学校・教室）それぞれ年間8回実施
（年間8回×3会場 計24回 を県内5カ所で実施予定）

8 事業実施上の留意事項

- (1) 原則として、1回あたり3名の講師が指導を行う。（安全上の配慮 指導効果）
- (2) 講師の謝金は、県が負担する。（1時間あたり、1人2,600円）
- (3) 講師の傷害保険、交通費、会場借用費等について、県は負担しない。

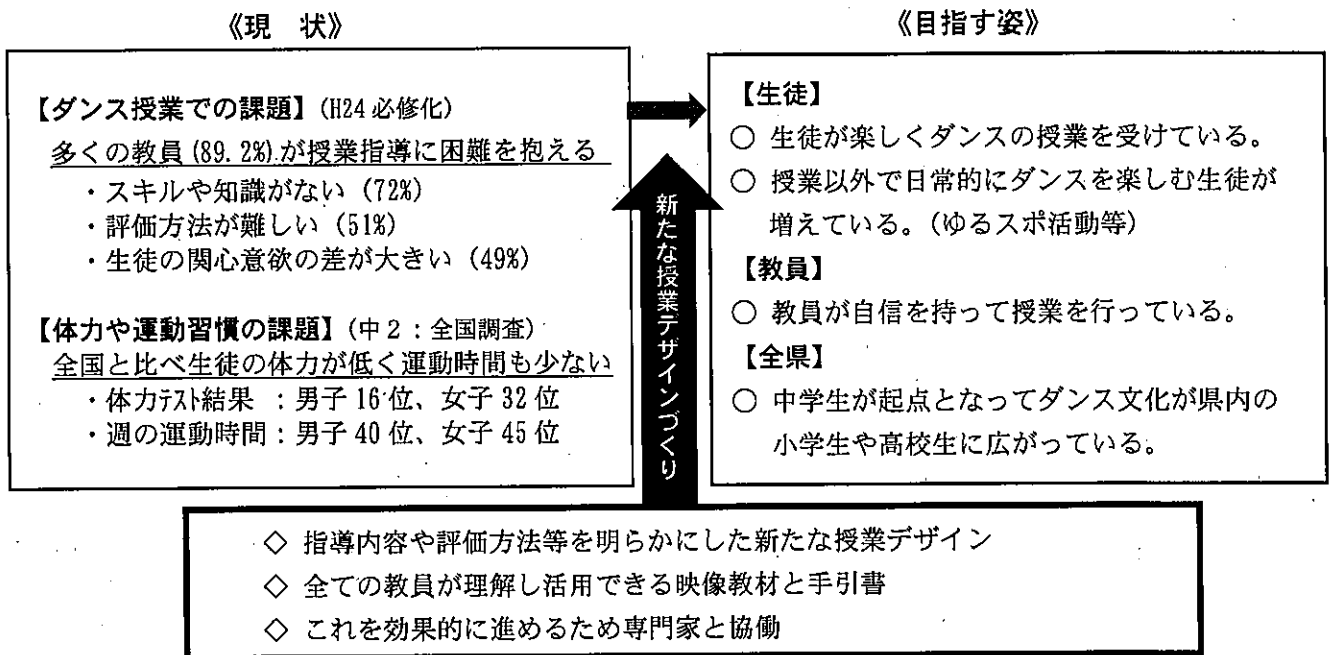
新たなダンス授業デザインづくり事業

(LDH社と県の包括連携協定に基づく協働プロジェクト)

1 目的

課題の多い中学校のダンス授業を改善するためLDH社と連携して作成した映像教材を、県内中学校に普及し活用することで、ダンスが好きで日常的に楽しく踊る元気な子どもたちを増やす。

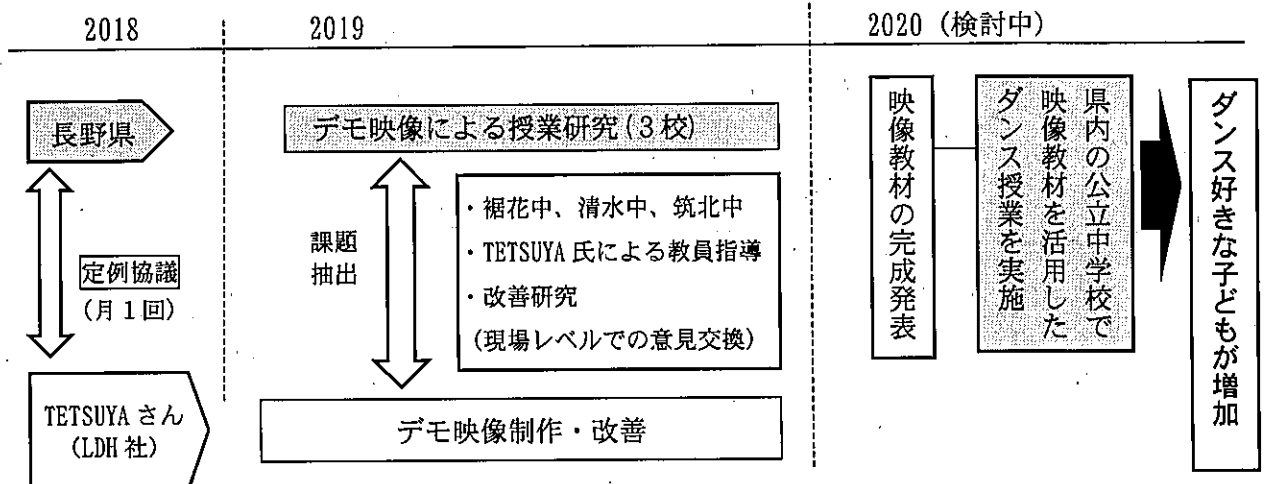
2 現状と目指す姿



3 事業内容(事業期間:2019~2020)

- (1) 映像教材及び手引書の制作
- (2) 実際の授業での実践研究(課題の抽出、改善研究)
- (3) 県内公立中学校への普及、活用

※TETSUYAさん
 早稲田大学大学院在籍中に修士論文
「必修化以降の中学校におけるダンス授業の現状と処方箋」を発表



スポーツ庁委託事業 2019年度 オリンピック・パラリンピック教育推進事業

1 事業内容

スポーツ庁より委託を受け、県内より推進モデル校を募り、推進校にてオリパラ教育の在り方について実践・検証を図るとともに、当該地区や県下全域に成果を発信し、長野県全体のオリパラ教育の充実につなげる。

2 推進校の実践

- ・推進校は、目的を定めるとともに、目的に迫るための活動を計画して実践する。
- ・各校に、消耗品費として50,000円、講師謝金として100,000円を活動費として予算化し、必要に応じて支出。
- ・推進校は、実践報告書を作成し、推進校によるまとめの会にて発表する。
(県教委は推進校の報告書をまとめ、県内全校、全市町村に配布する)

3 オリパラ教育推進校一覧

	推進校名	取り組み内容
1	長野市立 三本柳小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ体験・義足体験 ・パラアスリート大島健吾選手との交流 ・ルワンダ在住ガテラさんとの交流
2	千曲市立 屋代小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック経験の講演 ・講演内容を新聞にまとめる ・オリパラ新聞等を発行し、発信する
3	青木村立 青木小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックやパラリンピックの意義を学ぶ ・パラリンピック競技を知り、体験する ・講師による「ガイドランナーの体験型授業」の実施 ・オリパラの意義、体験など、学んだことを地域に発信する
4	阿南町立 大下條小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「I'm POSSIBLE」の活用 ・パラリンピアン渡辺孝次氏によるPTA講演会を開催し、親子でパラリンピックスポーツについて考える ・パラリンピック種目「ボッチャ」体験による、スポーツに親しむ態度と公平さの育成
5	松本市立 奈川小中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育月間に、ブラインドサッカーを体験し、視覚障害について理解を深めるとともに、パラスポーツに興味をもつ ・ボッチャを校内で楽しむとともに、ボッチャを通じて地域のお年寄りと交流する
6	池田町立 高瀬中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・水越大暉さん（障がい者野球・日本代表選手）と小林和久さん（長野県パラ陸上選手）を講師に迎え、トークショーや生徒と交流する ・参観日での親子ボッチャ体験
7	中野市立 高社中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・元キャビンアテンダントの講義による「ボランティアマインド」の醸成 ・「あすチャレ！ジュニアアカデミー」の活用（講演会） ・障がい者とのボッチャ交流会 ・車いすバスケット選手によるデモンストレーション・競技体験・講話 ・ボッチャ体験
8	白馬村立 白馬中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ体験 ・「白馬中オリパラDAY」を実施し、マラソン大会の企画、運営、オリンピックとの交流、パラリンピアンとの講演会、ボッチャ体験交流を行う
9	明科高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ、パラスポーツの体験 ・オリンピック・パラリンピック選手やコーチなどの講演により、オリンピックを身近なものに感じる
10	伊那養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャについての講習会を行い、ボッチャというスポーツを理解する ・体育等でボッチャを体験し、慣れ親しむ ・希望者を対象とするが、ボッチャの競技に参加し、競技としてのボッチャの楽しさを感じる

全国高等学校総合体育大会の開催について
 [冬季大会（令和2年度） 夏季大会（令和3年度）]

スポーツ課

1 開催趣旨

本大会は、教育活動の一環として高等学校（中等教育学校後期課程を含む。）生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動も含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的として開催する。

2 開催競技種目

	開催年度	期 日	競技種目
冬季大会	令和2年度 (2020年度)	令和3年(2021年)1月	スケート(スピード/フィギュア)・アイスホッケー
		令和3年(2021年)2月	スキー(アルペン/ジャンプ/コンパインド/クロスカン트리)
夏季大会	令和3年度 (2021年度)	令和3年(2021年)7～8月	全30競技(北信越ブロック開催)
		長野県 水泳(競泳、飛込、水球)、柔道、テニス、少林寺拳法(4競技) ◎福井県 総合開会式、閉会式 陸上競技、ハンドボール、サッカー、ソフトボール、ボート、レスリング 登山、自転車(トラック・ロード)、ボクシング、ウエイトリフティング フェンシング、アーチェリー、カヌー (13競技) 石川県 バレーボール、ソフトテニス、なぎなた、剣道 (4競技) 富山県 卓球、バドミントン、ホッケー、空手道 (4競技) 新潟県 体操(体操競技、新体操)、バスケットボール、相撲、弓道 (4競技) ※◎は中心開催県 ヨット競技は和歌山県にて開催	

3 主催等

主 催	(公財)全国高等学校体育連盟 各中央競技団体 長野県 長野県教育委員会 開催市町 開催市町教育委員会
共 催	読売新聞社
後 援	スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 日本放送協会 (公財)長野県スポーツ協会 開催市町体育協会
主 管	(公財)全国高等学校体育連盟各専門部 長野県高等学校体育連盟各専門部 関係競技団体

4 開催地及び参加人数(予定)

競技種目	開催地(予定)	参加人数(見込)	
		選手・監督	競技役員等
スケート・アイスホッケー	スピードスケート … 長野市 フィギュアスケート … 長野市 アイスホッケー … 岡谷市、軽井沢町	約1,550名	約850名
スキー	アルペン … 飯山市 ジャンプ・コンパインド … 飯山市 クロスカンントリー … 飯山市	約1,500名	約600名
水泳	競泳 … 長野市 飛込 … 長野市 水球 … 長野市	約3,200名	約1,100名
柔道	… 長野市	約1,800名	約600名
テニス	… 松本市	約900名	約1,300名
少林寺拳法	… 佐久市	約1,050名	約350名